

# 地域支え合い活動に関するアンケート調査結果

地域福祉課

## 1 調査目的

県では、皆さんが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、地域住民の方々が互いに支え合い、助け合う活動を支援しており、今後の地域福祉の推進の基礎資料とさせていただくため、県民の皆さんの意見や感想を伺いました。

## 2 調査対象等

調査対象: 県政モニター964人(うちインターネットモニター633人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和3年12月2日～12月20日

回収結果: 631人(回収率65.5%)

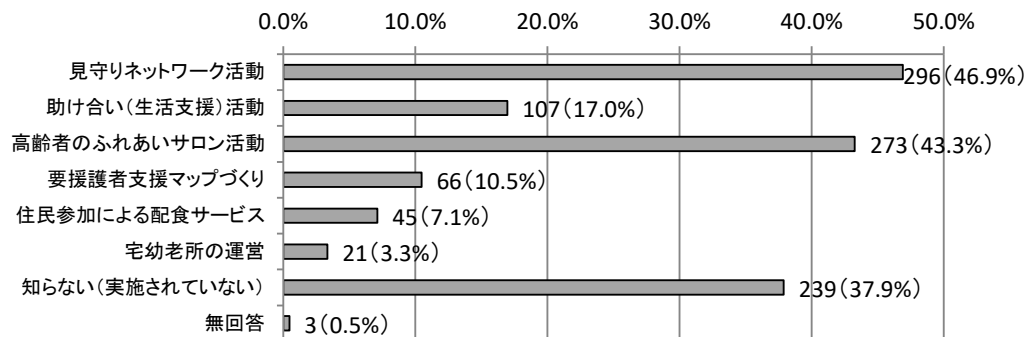
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

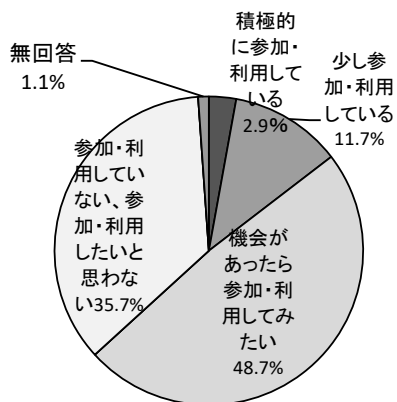
## 3 結果概要

### ○地域支え合い活動の現状

#### 【地域で実施されている活動】



#### 【活動への参加状況】



#### 【活動の継続実施のために必要なこと】(※上位3つ)

- ・活動を担う人材の確保やリーダーの育成(40.2%)
- ・活動に対する資金的援助(16.3%)
- ・活動団体のネットワークづくり(16.3%)

#### 【活動に参加しようと思うきっかけ】(※上位2つ)

- ・活動内容を紹介した広報誌等の閲覧(41.5%)
- ・地域支え合い活動へのお試し参加(36.8%)

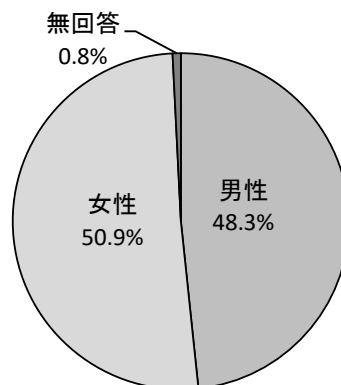
#### ○高齢者支援として行政が重点的に取り組む必要がある項目(※上位3つ)

- ・外出の際の移動手段の整備(47.1%)
- ・身近な場所で気軽に何でも相談できる体制の整備(44.8%)
- ・介護保険の対象とならない軽微な介護や日常生活の支援の充実(39.6%)

#### 4 回答者属性

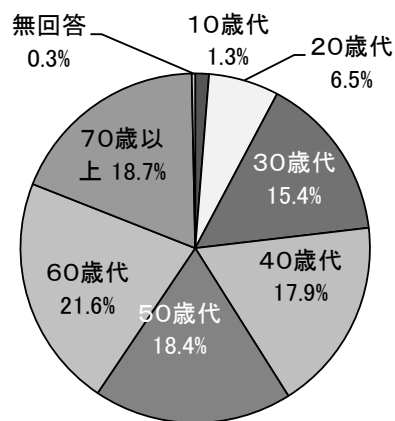
##### (1) 性別

	人数	割合
男性	305	48.3%
女性	321	50.9%
無回答	5	0.8%
計	631	100.0%



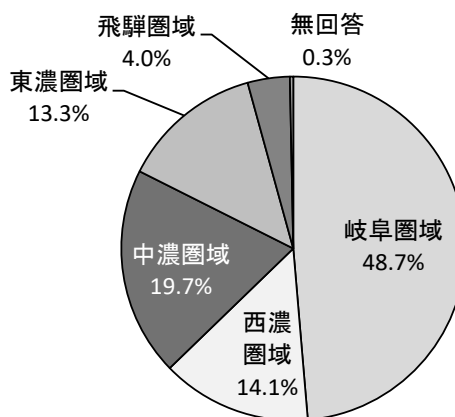
##### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	8	1.3%
20歳代	41	6.5%
30歳代	97	15.4%
40歳代	113	17.9%
50歳代	116	18.4%
60歳代	136	21.6%
70歳以上	118	18.7%
無回答	2	0.3%
計	631	100.0%



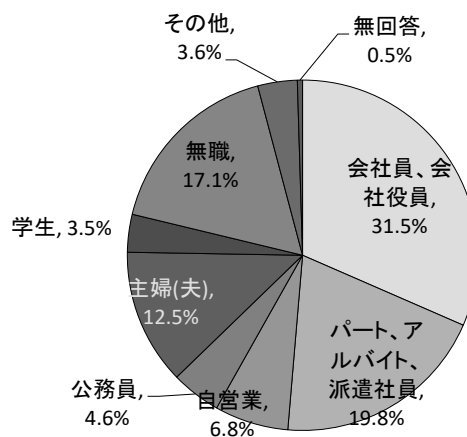
##### (3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	307	48.7%
西濃圏域	89	14.1%
中濃圏域	124	19.7%
東濃圏域	84	13.3%
飛騨圏域	25	4.0%
無回答	2	0.3%
計	631	100.0%



##### (4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	199	31.5%
パート、アルバイト、派遣社員	125	19.8%
自営業	43	6.8%
公務員	29	4.6%
主婦(夫)	79	12.5%
学生	22	3.5%
無職	108	17.1%
その他	23	3.6%
無回答	3	0.5%
計	631	100.0%

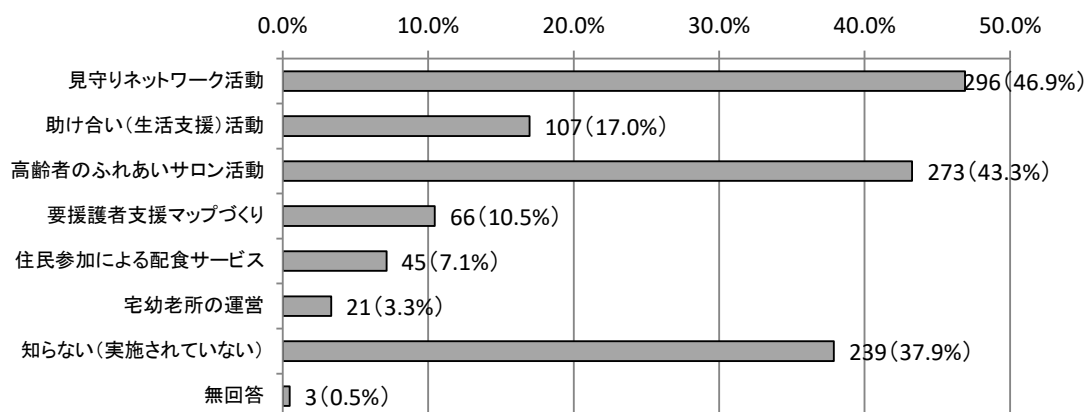


## 5 調査結果

問1 県では、地域福祉の推進を図るため、地域の住民の支え合い活動(以下「地域支え合い活動」とします。)の実施を推進しています。

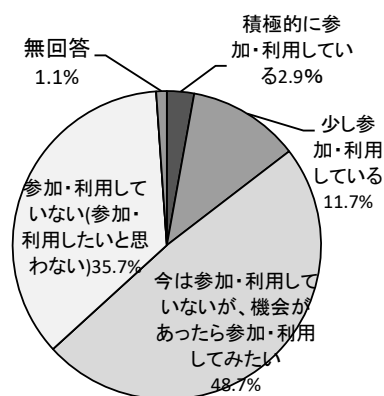
あなたのお住まいの地域(自治会や小学校区など)では、どのような地域支え合い活動が実施されていますか。(複数回答)

	回答数	割合
見守りネットワーク活動	296	46.9%
助け合い(生活支援)活動	107	17.0%
高齢者のふれあいサロン活動	273	43.3%
要援護者支援マップづくり	66	10.5%
住民参加による配食サービス	45	7.1%
宅幼老所の運営	21	3.3%
知らない(実施されていない)	239	37.9%
無回答	3	0.5%
計	1,050	-



問2 あなたは、問1で示した地域支え合い活動について、参加または利用していますか。

	人数	割合
積極的に参加・利用している	18	2.9%
少し参加・利用している	74	11.7%
今は参加・利用していないが機会があったら参加・利用してみたい	307	48.7%
参加・利用していない(参加・利用したいと思わない)	225	35.7%
無回答	7	1.1%
計	631	100.0%

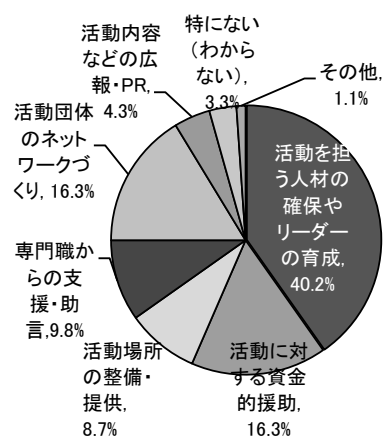


問3（問2で「積極的に参加・利用している」「少し参加・利用している」と答えた方）

あなたが、現在参加・利用している地域支え合い活動が継続的に実施されていくためには、何が必要だと思いますか。

回答者 92 人

	人数	割合
活動を担う人材の確保やリーダーの育成	37	40.2%
活動に対する資金的援助	15	16.3%
活動場所の整備・提供	8	8.7%
社会福祉士、介護福祉士、保育士、栄養士等の専門職からの支援・助言	9	9.8%
活動団体のネットワークづくり	15	16.3%
活動内容などの広報・PR	4	4.3%
特にない(わからない)	3	3.3%
その他	1	1.1%
計	92	100.0%



※「その他」のうち主なもの

- ・ 行政や事業者等と地域課題を話し合う交流の実施。

問4（問2で「今は参加・利用していないが、機会があったら参加・利用してみたい」  
「参加・利用していない(参加・利用したいと思わない)」と答えた方）

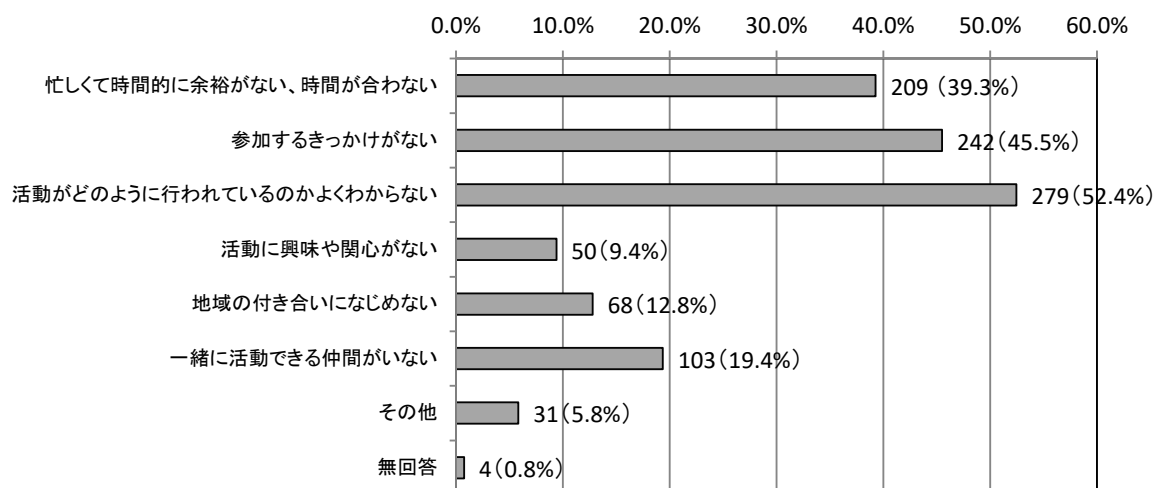
あなたが、現在、地域支え合い活動に参加していない理由は何ですか。

(複数回答) 回答者 532 人

	回答数	割合
忙しくて時間的に余裕がない、時間が合わない	209	39.3%
参加するきっかけがない	242	45.5%
活動がどのように行われているのかよくわからない	279	52.4%
活動に興味や関心がない	50	9.4%
地域の付き合いになじめない	68	12.8%
一緒に活動できる仲間がない	103	19.4%
その他	31	5.8%
無回答	4	0.8%
計	986	-

※「その他」のうち主なもの

- ・高齢のため体調がすぐれず参加できない。
- ・ボランティアとなっているが、強制的に順番が回ってくる。
- ・いずれは参加したいと考えているが、50代のためまだ早いと感じている。
- ・コロナのため地域の活動が休止となっているため。
- ・自分に必要がないため、あまり関心を持っていない。



問5（問4で「参加するきっかけがない」「活動がどのように行われているのかよくわからない」と答えた方）

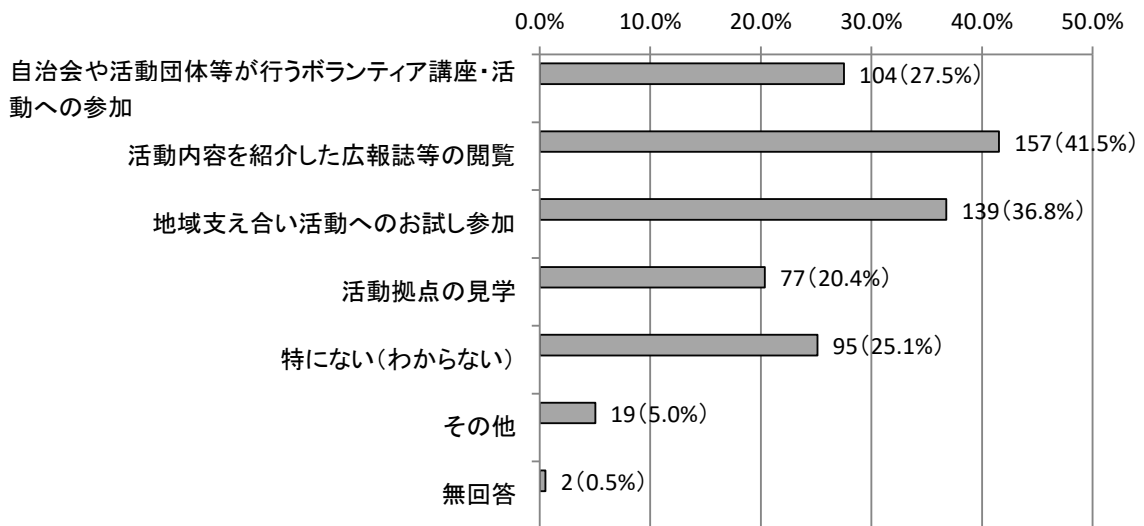
あなたは、どのようなきっかけがあれば、地域支え合い活動に参加しようと思いますか。

（複数回答） 回答者 378 人

	回答数	割合
自治会や活動団体等が行うボランティア講座・活動への参加	104	27.5%
活動内容を紹介した広報誌等の閲覧	157	41.5%
地域支え合い活動へのお試し参加	139	36.8%
活動拠点の見学	77	20.4%
特にない(わからない)	95	25.1%
その他	19	5.0%
無回答	2	0.5%
計	593	-

※「その他」のうち主なもの

- ・ 活動の内容や種類等の説明会があれば参加しやすい。
- ・ 誘われたら参加したい。
- ・ 積極的に活動している団体の広報をして欲しい。



問6 あなたは、高齢者の日常生活に関する福祉施策として、行政(市町村・県)はどのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。(複数回答)

	回答数	割合
身近な場所で気軽に何でも相談できる体制の整備	283	44.8%
介護保険の対象とならない軽微な介護や日常生活の支援の充実	250	39.6%
健康づくりや生きがいづくりの促進	232	36.8%
外出の際の移動手段の整備	297	47.1%
買い物支援の整備	215	34.1%
支え合い・助け合いを目的とした地域住民間のつながりの促進	162	25.7%
地域における認知症高齢者に対する理解の促進	75	11.9%
特にない(わからない)	27	4.3%
その他	22	3.5%
無回答	5	0.8%
計	1,568	-

※「その他」のうち主なもの

- ・ 地域住民間の繋がり(特に若者と)の整備。
- ・ 独居老人への各種支援体制の充実・孤独死対策。
- ・ 高齢者でもできる仕事の創出。
- ・ 車から公共交通機関の利用へと遷移しやすいような仕組み(キャンペーンなど)づくりや、若い世代が地域のサポートに参加しやすいような労働環境整備。

